



特別企画展

グアテマラ 民族衣装

いろ・もよう・かたちの発見。
揃いの服を着て暮らす村人がいる。

2011年10月20日[木] → 11月25日[金]

休館日：日曜・祝日、10月24日（10月23日は開館）

開館時間＝9時30分～17時

開催場所＝東京家政大学内・百周年記念館5階 展示室

下車駅＝JR埼京線「十条駅」徒歩5分／都営三田線「新板橋駅」徒歩12分

観覧無料

◆ イベント ◆

「グアテマラの民族衣装を着てみよう！」

◆ 企画展開催中の毎週木曜日 13:00～15:00 ◆

◆ 申し込み不要（混雑の際は、お待ちいただくことがあります。予めご了承ください。） ◆



カクチケル族 ソロラ村



イシル族 ネバフ村



マム族 サン・フアン・アティタン村

特別企画展

グアテマラ民族衣装

—いろ・もよう・かたちの発見—

2011年

10/20(木) - 11/25(金)

日本から遠く離れた中米の国・グアテマラ共和国。かつてマヤ文明の栄えたこの地では、今もその末裔が暮らしています。彼らが身にまとっている衣服は村ごとに色や模様が異なり、さながら万華鏡のような輝きを見せています。この装いは、ゆるやかに変化しながら今日まで受け継がれており、一部の村では日常的に、あるいは儀式の際に揃いの服を着た村人の姿を見ることができます。

なぜ、彼らは極彩色の衣服を選ぶのでしょうか。特徴的ないろ・もよう・かたちに注目し、その魅力と謎に迫ります。



ウィビル：女性用上衣
カクチケル族 サン・ペドロ・サカテベケス村



ウィビル：女性用上衣
イシル族 チャフル村



スーテ：多目的布 儀式用
キチエ族 ナワラ村

イベント

企画展関連イベント
「グアテマラの民族衣装を着てみよう!」

企画展開催中の毎週木曜日
13:00~15:00 申し込み不要

※ 混雑の際はお待ちいただくことがあります。予めご了承ください。

インドネシアの伝統芸能「ワヤン」のお話
「ワヤン講座」

10/29(土) 15:00~ 1時間半程度
百周年記念館 4階 中会議室
申し込み不要

講師：松本亮氏 (日本ワヤン協会主宰)

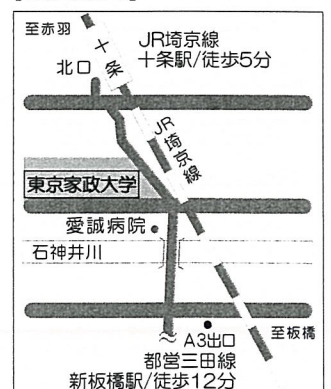
松本氏より、インドネシアのワヤンを通して
40年来続けてこられた国際交流について
お話しいたきます。

[開館時間] 9:30~17:00

[休館日] 日曜・祝日、10/24
(10/23は開館)

観覧無料

[交通案内]



* 十条駅北口を降りて左手に進む

* 東京家政大学
百周年記念館 5階 展示室

《表写真》 マム族 定期市へ向かう人々



東京家政大学博物館

東京都板橋区加賀1-18-1 TEL 03-3961-2918 <http://www.tokyo-kasei.ac.jp/hakubutu/>